令和8(2026)年 3月10日発行 第176号

こびとのおうちえんLetter

3月号

3月に全員で山を越えて海まで歩きたいので、下見にいくことにした。(はるとと)(ゆずき)(さめ)が一番乗者に。山歩きながら、寄り道をたのしんだり、「これ雪のお母さん」と言って、綿毛の入ったフネみたいな形のをとってとばしたり。途中の紅葉のしばふ、ところがったり、山の中のジャングルジムもチェック！ 途中イノシシに荒らされてるなとか、すごい草のびてるなってとこを通りつつ、あとは斜面をひたすらすべりおりて森の出口へむかう。ここからが…!! すごいヤツだった〜〜。道ないやん。これは…心折れそう。カマを出したものの…。そしたら(はるとと)が「イケつ！」と言った。勇気づけられたー。竹をもって進んだ。そして、脱出成功！ なかなか冒険だった。下見大成功!! ありがとう—!!

(2/19)

あっきーのコーナー

ただの保護者だった私が、声をかけられておうちえんのスタッフになってから5年と10ヶ月。娘のてらこや卒業とともに、今年度でわたしもおうちえんを卒園する。

自然の中で、四季折々の中で、子どもたちや他のスタッフとともに過ごしてきた日々は、どれも特別なものでもないただの日常で(あ！年長さんキャンプは超スペシャル！)、だけど、その一日一日が、出来事一つひとつが、思い出すたびに…わたしの心をじわーっと温めてくれるような体感に包まれる、今の自分に力を与えてくれる、そんなかけがえのない時間と体験の積み重ねだったなぁ、と感じている。(まだ続いてる！)

何気ない時の流れとその風景、あらゆる出来事の中で、自分の中に感じる・わきあがる体感や心の動き。もやっとした違和感や沸き出てきたネガティブな感情と、それを自分に問いかける(自分と向き合う)時間。他との関わりの中で、新たな自分に出逢って、変化する自分を感じて、やっぱり変わらない自分も自覚する。丁寧に自分を感じて自分に関わる。そして、その自分をもって他者と関わる。そのくり返し。そこには、喜びもあれば苦しきこともたくさんあって、でも、どんなわたしでも子どもたちは変わらずやさしさと愛で包んでくれる。

子どもたちとの時間の中で、たくさんの気づきと学びを与えてもらい、子どもたちを通して周りの大人たちとたくさんの想いを共有できたこと、ともに育ち合えたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。出逢ってくれて本当にありがとう。たびだちの日まで、限りある時間をこの想いを噛みしめます！

浜口昭子

2月はこんなことしました

- ふきみそ作り
- 豆まき、オニさがし
- ふきのとうとりさんぽ
- 森でおうち作り
- みつろうろうそく作り(年長児)
- ヘラサギを見にいく(天池)
- どんどやきの準備
- 伊保庄の海への道の下見
- 雪合戦
- 雪玉ころがし
- 火災・消火訓練
- 山たんけん
- 山の広場でみんなでキッチン
- 田名ふいとうで魚つり
- まりふで魚つり
- 漁師と人魚ごっこ
- すもう
- 上関のビー玉の浜へいく
- 天神山へいく(防府市)
- すっぽんさがし
- 雨けいどろ

etc…

3月のスタッフプラン

・みそ作り(3/4) ・うどん作り(3/12)

おはすびの日 3/5(木)(済) ※今月は木曜日 3/19(木) おはすびよろしくおねがいします！

13(金) おべんとうの日 おべんとうよろしくおねがいします！

白滝山へのぼろう(岩国市美和町)

→どちらから乗車するか前日までに知らせて下さいね！

(往)おうちえん 8:30発
丸久柳井店(P) 9:00発

(帰)丸久柳井店(P) 17:00着予定

早いどがよろしくおねがいします。
遅れないようにおねがいします。

すこびだちの会

卒園おめでとう！ みんな大きくなったね。いてくれてありがとう。いっぱい笑っていっぱい泣いて どの子の心もカラダも大きくたくましくなりました。みんなの成長をお祝いしましょう。そして たびだつ7人を温かくうれしくいってらっしゃいと送り出しましょう。(今年度最終日です。)

3/27(金) 9:30〜12:00

9:30〜 モーニングミーティング(あそぶ〜!!)
10:30 たびだちの会
12:00 お赤飯のおにぎりたべてさようなら！

3月のペアレンツグループ

★16日(月) 13:00〜15:00
場所 もみじの家
内容 フィーリンググループ
「おうちえんで学んだこと」「今の自分のこと」語り合い聴き合う時間になればと思います。
※参加の方は、事前におしらせ下さい。当日の朝でもOKです。

★23日(月) 13:00〜15:00 もみじのいえ
あつおTIMEです。

—————— の様子をおしらせします。

おしらせ

春休みは、3/28(土)〜4/5(日)です。
来年度は、4/6(月)スタートです。後日、くわしくお知らせしますね！

2/8の親子でおうちえんのおもちつきでよもぎもちしたいと(あみ)
春になったら(はじまりの会では)するけど…と言ったら
「今日から春よね！」
そうだわ、立春 (2/4)
という中けどその後(2/6)
に(いちか)(さゆき)がよもぎをつんで(でもまだあんまりのびてなくて苦戦した。)
2/8のおやこの日のよもぎもちとなりました！

よっこのちょこっとおうちえん日誌〜日々のあれこれ〜

朝、母とはなれるのがさみしい(いちか)(いちか)をだっこする。だっこしてもOKになった。前は、だっこさせてくれなかった。体に触れるのは拒んでいた。だから、やっと、だ。でも、まだ体はつっぱっている。そのきょり感が私はとても(いちか)と私にひったりだと思った。だっこはOKだよ、でも、体ごと甘えられるほどじゃない。

次の日は、また少し変化して手を体にまわしてくれるようになる。自分のきもちを正直に認め、素直な(いちか)がいる。

(いちか)はまだ母との別れぎわで泣くこともあるけど、私は、もうそれは必要ないなとも思ってる。(いちか)は母にちゃんと「いっしょにいたい」と言葉にするようになった。泣き止むのも早い。あるとき、私はその「泣き」をみていて、自分も(いちか)をみていたら泣けてきてうぇんうぇん泣いた。泣けてしょうがなかった。(いちか)のさみしいが心に入ってきたと思った。一緒に泣こう。でも、そうしたら(いちか)の涙は止まっていた。そうなのだ、そのくらいのかんじ。意識でコントロールできるかんじ。泣いていいのだ。泣きたいのだから。純粋にさみしいと。いいもわるいもない。でも、泣くことが手段になるのはちがう。あと、泣くためにさみしさをひっぱらなくてもいい。

そしてそして、(いちか)が開いてうれしい日々。ごっこあそびで「お母ちゃ〜ん」と(さゆき)(あみ)と抱きついてきたりする今。

(2月を通して)

ももちゃんが毎年節分におん人形を使ってしてくれる「おふくと鬼」のお話。木や布や毛糸や花や豆などを小道具として使う。とってもすてきなのだ。そして、いちばんすてきなのは前の日に、おん人形を使わずにただおはなしだけをきかせてくれる「素話」。素話のよさをいつも再認識させてくれる。絵がなくても、視覚にうったえるものがなくてもこどもたちはくいいるようにお話をきいている。頭の中に心の中にそのおはなしを入れてきいている。そういうお話ができるためには、アドリブではない、きちんとしたお話の(文章の)暗記といおか、たとえば舞台のセリフとか落語とか動かしてはならないことばの流れを習得しないとならない。事前の準備がいるのだ。そういう内容を私もももちゃんと思うけど なかなかそこまではいかない。だからこそのよさに触れると心がよろこぶのだ。今年の話は、ももちゃんの中では不完全燃焼だったと思う。変に慣れちゃってると言ってた。私も今日以上もをのってる。でも、よろこんだ！

(2/3)

前日の夕方からすこし降った雪。ここで雪あそびできるのは、年1回あるかないか。うれしい—！ りかさんちの屋根の上にのり雪あつめて上と下での雪合戦。(けいご)(なみと)(きよひと)(あみ)(かほ)(ゆより)(みなと)よっこ、りかさん、みなぎ、ももちゃんでやった。あつい!! おもしろい！ おひさまあたってるとこはもう溶けていて雪ちょで だるまさんがころんだをしてる子もいた。もっと雪をさがしにいこう！ 全員でスカイラインへのぼっていった。青くと道に雪がある。道のはしっこにもある。ここの雪は丸めやすい！ わたしは雪玉つくってころがしはじめた。みんなもはじめた。雪玉がどんどん大きくなる。たのしーい。(きよひと)の玉でっか!! (ゆより)も(みなと)(ゆき)(けいご)も(さゆき)も玉を育てていた。もうもてなくなったし雪がなくなってきたのでかげにおいてかえった。(次の日みにいったらまだのこってた！) 私、(みなと)(いちか)(ゆあ)(かほ)は自分の雪玉をもって山をおりた。私はかかえたうでが筋肉痛。(みな)もかかえてよく歩いたわ。山の中はみなぎにもってもらう。がりヨシのあたまにもうっすら雪がつもってた。さむくなかったので心地よくたくさん雪とあそんだ！ 私がいちばん興奮したのは雪の上にあった 🐾 ← 足あと!! 野うさぎだ!!

(2/9)